

今週の

いきもの広場

① ミスジマイマイ



カラにある3本のスジが特徴です。写真は大きいマイマイですが、春生まれの小さなマイマイは1cmにも満たない大きさです。

② クロアゲハの幼虫



ミカンの木にクロアゲハの幼虫がいました。よく探すと、他の葉にもいろいろな大きさの幼虫が見つかります。

③ カマキリのなかまの幼虫



5 cm 前後の小さなカマキリです。5月頃に卵からふ化したと思われます。植物の種類を問わず葉の表にいることが多く、そっと近付けば間近で観察することができます。

④ アカスジキンカメムシ



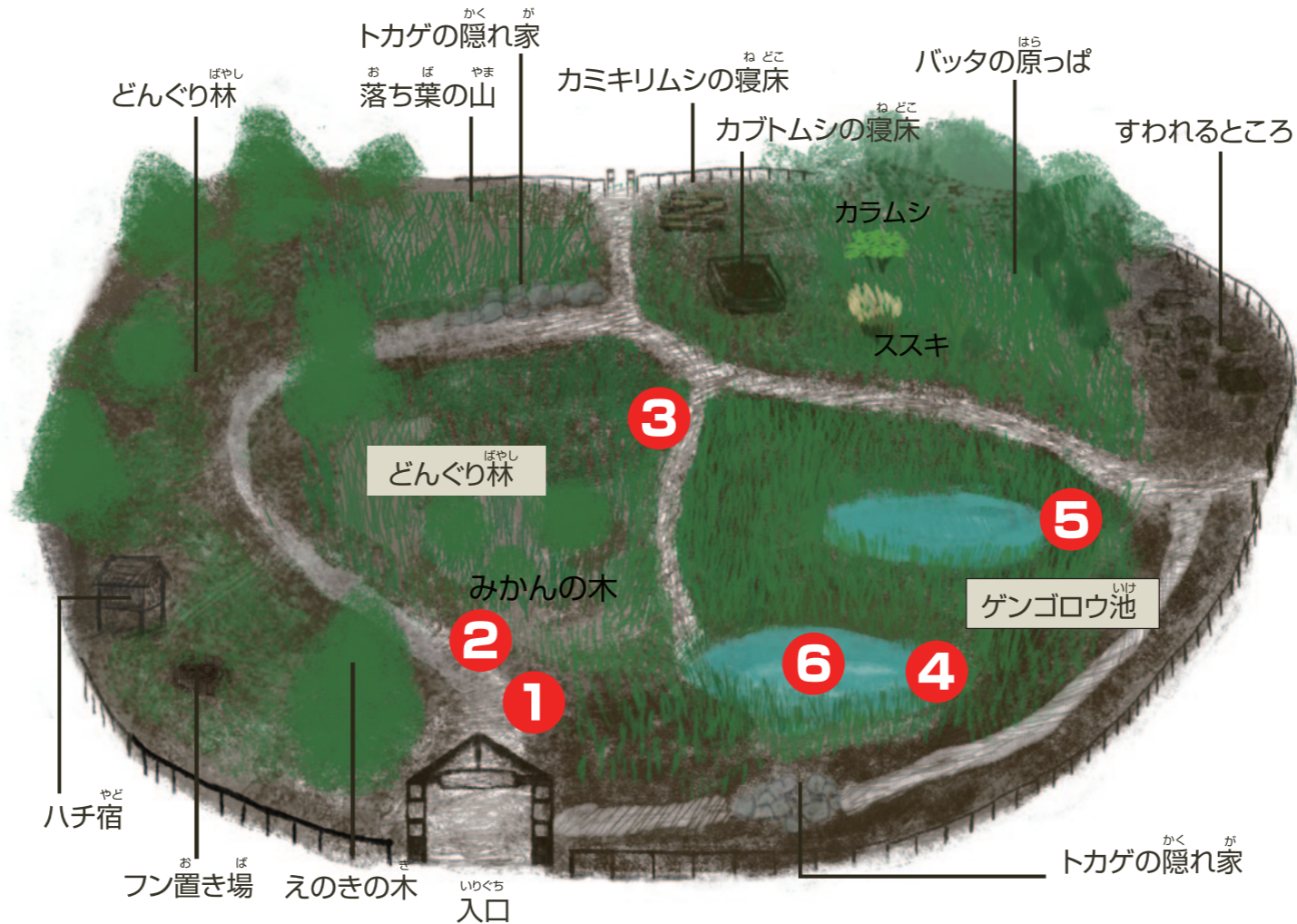
金属光沢のある緑色に、赤いスジ模様のある体を持つ美しいカメムシで、幼虫の茶色の体から大きく変化します。

カブトムシの幼虫はお休み中です



カブトムシの幼虫がさなぎへと変身中です。さなぎの時に傷がつくと、成虫になれないこともあります。1ヶ月ほどの間、土は掘らずに、静かに見守ってあげてください。

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さなしかけがたくさんあります。6月になって、さらにいきものの種類が増えています。動物だけでなく、アジサイの花が咲いたり、クワの実がなったりと、植物を見ても楽しい季節です。



⑥ ショウジョウトンボのオス



オスは目まで真っ赤な体です。秋にあらわれるアキアカネよりもひと回り大きく、初夏から秋にかけて見ることができます。

⑤ オオシオカラトンボのオス



オスは体色が氷色、メスは黄色です。ショウジョウトンボ・クロスジギンヤンマのオスとともになわばり争いのためゲンゴロウ池の水面で飛び回っています。